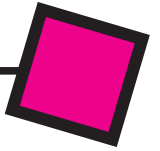


2022年度 年報



NIZE LAB

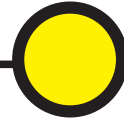


一般社団法人 タテノイト





目次



CONCEPT 02

CONTENTS 03

① 問いの芽 (平日昼間の学びの場)

活動報告 04-05
拠点施設ついに竣工 06

② NAZELAB図書館(放課後の居場所)

子どもと大人の第三の居場所・コミュニティキッチンづくり ... 07

③ NAZELAB Petit(子育てサロン)

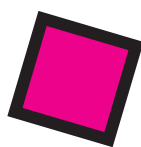
未就園児対象の子育てサロン 08

④ 問いの種 (イベント)

開所式・内覧会 09	銀河!ブラックホール!惑星!宇宙の研究者に会いに行こう! 16
町長に伝えてみよう!横瀬にあったらいいあんなモノこんなコト ... 10	みんなでつくる黒板アート~まるさんかくしかくのせかい~ 17
~建築設計のお仕事体験~自分らしく生きるための家をつくろう... 11	おやこで楽しむ「はじめての落語」 18
小惑星リュウグウが教えてくれたこと 12	~可能性の芽がぐんぐん伸びる~子どもの最強おやつアイデア ... 19
無理しなくても大丈夫!友達づきあいがラクになる授業 13	草花であそぼう!みんなで作る草花まんたら 20
科学実験ワークショップ 13	~川遊びがもっと楽しくなる~ロックバランシング入門 21
マイクラで作ろう!あったらいいなこんな学校 14	桜と楓の物語 22
月から考える太陽系の姿と私たちの宇宙 15	マジックと音楽と絵本のコンサート 23

SUPPORT 24

関係機関や団体、メディア紹介 25





CONCEPT

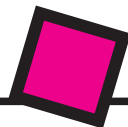
子どもと大人が集い、 多様な学びが広がる場の創出を目指します。

知識習得に偏りがちな日本の集団教育には、平均からの逸脱が認められにくい面があります。こうした環境で他人との比較や評価にさらされ続けると、子どもたち一人ひとりが本来持っている個性や感性が十分に発揮されず、「自己受容感」や「自己肯定感」を持ちにくくなります。

NAZELABでは、子どもも大人も何かを「できる/できない」ではなく、自分が「したい/したくない」を大切にします。人間は生まれながらに好奇心や向上心を持っています。**他者との比較から解放**され、これらを素直に発揮できる場で、自己受容感・自己肯定感を育みます。

子どもと大人が一個人としてフラットに繋がる特別な空間で、自分自身を大切にすること、他者を尊重する気持ちを育むことができるのではないのでしょうか。

NAZELABの学びは、オンラインではなく、**リアルな体験**の中にあります。主な活動として、子どもたちの旺盛な好奇心をくすぐる町内の**森や川などをフィールドとする野外活動**、子どもたちの”知りたい”を追究し**新たな知を生み出す研究活動**、子どもたちの世界観を広げる**サイエンス関連のワークショップ**等を行います。さらに、子どもたちと関わる保護者やスタッフも自分らしくいられる場所を目指し、**大人にとっても育ちの場**となるような活動にも取り組みます。



CONTENTS

1

問いの芽(平日昼間の学びの場)

for 小中学生

どんなに些細な”知りたい”や”やってみよう”でも、学びに繋がります。それを一緒に面白がる仲間とともに深めていく場です。

横瀬町の豊かな自然の中での活動では、たくさんの”知りたい”や”やってみよう”に出会えます。カリキュラム等は設けず、子どもたちが”知りたい”や”やりたい”を見つけ、没頭する時間を大切にします。スタッフは、子どもたちの好奇心に伴走することで、興味を深め、そして広げていきます。自ら成長できる限りないポテンシャルを持つ彼らを信じ、その純粋な探究心に寄り添い、主体的学びをサポートします。

家庭の経済状況によらずに利用できるよう、奨学生制度を設けます。

2

NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

放課後に子どもたちや大人が”やりたい事”を持ち寄り、子ども同士や子どもと大人がゆるやかに繋がれるコワーキング・コスタディスペースを開所します。人との出会いや他の子どもたちや大人の”やりたい事”との出会いを通し、子どもたちの世界観が広がる場所を目指します。

また、子どもたちが調理や片付けを行う、子ども主体の子ども食堂を開催します。

3

NAZELAB PETIT(親育ちの場)

for 保護者のみなさま

保護者の自己受容感・自己肯定感は子どものそれらに強く影響を及ぼします。

保護者もまた自分らしさを発揮したり、子育ての悩みや喜びを共有・共感し合える大人の居場所も運営します。

4

問いの種(イベント)

for 子どもから大人までの地域のみなさま

たくさんの”なぜ?”や”やってみよう”に出会えるようなサイエンス関連のワークショップ・多様な生き方・仕事をしている大人と出会えるトークイベントを休日に開催します。



問いの芽(平日の学びの場)

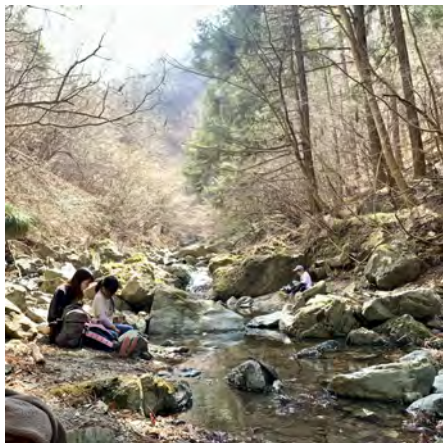
for 小中学生

2年目を迎えた平日昼間の学びの場「問いの芽」。学びの出発点として「体験」にこだわります。今年も秩父の自然を感じる体験、そして制作やアートなど、様々な体験を得て、子どもたちの見える世界が変わっていくことを目の当たりにしました。

●横瀬の自然を満喫



普段から活動している森は、針葉樹もあれば広葉樹もあり、実に表情が豊かです。過ごしやすい季節もあれば、厳しい季節もあり、出会う景色や動植物も四季折々。子どもたちはそんな多様な世界に日々触れています。



横瀬には横瀬川はじめ、横瀬川に注ぐ沢も数多くあります。暑い夏は沢で涼を取ったと思えば、厳冬の沢でも子どもたちは遊びこんでいます。



ちょっと遠出して伊豆ヶ岳まで登山にも行きました。



●制作・実験・アートの時間

町内の竹林で伐採させて頂いた竹を使った制作、アートの専門家をお呼びしてフルイドアートの時間、川原の石を紙やすりで研磨、生き物の顕微鏡観察などなど。子どもたちのやってみやいこと、そして大人のやってみやいことに色々チャレンジしました。



●お出かけ企画

不定期のお出かけ企画をスタートしました。行き先は子どもたちが議論を重ねた上で決定しています。3月に行った国立科学博物館では、熱心に展示に入っていました。



●森の居場所整備

横瀬町内の森をお借りして、活動拠点の1つとして使用させて頂いています。2021年度よりヒノキの間伐を行い、整を行っています。ここに2つのツリーハウスを建設することを目指しています。この整備には林学の研究者・石田健さん、地図学・地理学の研究者・古橋大地さん(青山学院大学地球社会共生学部教授)ほか、地域のみなさまにご協力を頂き進めています。ツリーハウス建設も少しずつ力を合わせて進めています。ご協力頂いたみなさま、ありがとうございます！



●拠点施設ついに竣工

NAZELABの拠点施設は、ちちぶ農業協同組合（JAちちぶ）横瀬支店の、一部機能の本店への集約化に伴い遊休資産化する施設の有効活用として、同支店敷地内に建設が進められ、2022年6月に竣工いたしました。これに先立つ5月、同敷地内にワーキング環境と宿泊機能が整った「LivingAnywhere Commons横瀬（運営：株式会社LIFULL）」が誕生し、オープニングイベントには、私たちもイベントを共催しました。隣接する既存の地域のコミュニティスペース「オープン＆フレンドリースペース エリア898（運営：横瀬町）」とともに、地域、世代、背景を越えた多様な人々が行き交う「横瀬町の中心地」になっています。

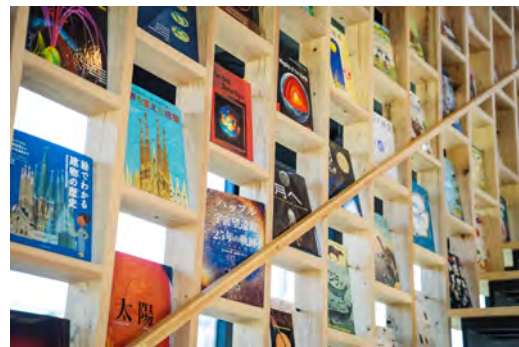


隣接施設との共創により多様な人々が行き交う場所を創造します



設計を担当したのは、建築家の倉林貴彦さん（倉林貴彦建築設計事務所）。一階はレクチャーやイベントができるスペースに実験室を備えています。全面ガラス張りで、開放感を演出しています。

大階段から二階まで本がずらりと面出して置かれています。私たちこだわりの選書で、好奇心をくすぐります。この階段は、イベント時は階段席にもなります。



二階も全面が本で囲まれた空間。落ち着いた雰囲気、読書や学習に没頭することができます。キッチンも備えていて、みんなで料理も楽しめます。



NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

●子どもと大人の第3の居場所



小中学校の放課後の時間(15時~18時)に子どものコスタディ、大人のコワーキングスペースとしてNAZELABを開放しています。

読書をしたり、宿題をしたり、カードゲームやボードゲームをしたり、子どもたちは思い思いの過ごし方をしています。

地域の方、隣接施設LAC横瀬ユーザーの方など、様々な大人との交流が生まれています。



●コミュニティキッチンづくり

地域の誰もが食を通してつながる場である「コミュニティキッチン」の拠点になる野外炊事場を作っています。地元の方から譲って頂いた古材を使って、ベンチやデッキを作りました。NAZELABに関わってくださっているたくさんの方に集まっていただき、協働で作業を行いました。現在も、東屋建設がつづいています。



NAZELAB Petit(子育てサロン)

for 保護者のみなさま

●未就園児親子対象の子育てサロン

未就園児の親子を対象にした子育てサロン『NAZELAB petit』が10月にスタートしました。「絵本de子育て」と「森de子育て」の2本立てで実施し、0歳から3歳の子どもとお母さんが参加してくれました。「絵本de子育て」は絵本の読み聞かせや絵本講座を通して、親子で絵本を楽しんだり、保護者の学びの時間となりました。「森de子育て」は自然の中で生き生きと遊ぶ子どもたちを見守り、大人も自然の中で過ごすことの心地よさを感じる時間となりました。毎回同じメンバーで過ごすことで、参加者同士の信頼関係も育まれ、温かくゆったりとした雰囲気の中で過ごすことができました。

